



2学期がスタート、自分をさらに一步成長させる学期に！

いよいよ2学期がスタートしました。今学期は自分をさらに一步成長させるために、様々な課題にチャレンジする・・・そんな1日1日にしていきましょう。

令和2年度 第2学期始業式 式辞 ※ 抜粋

2学期はよく「1年の中で1番長くて忙しい学期」と言います。確かに日数も長く、様々な学校行事が行われます。しかもそれらのほとんどが「自分達でやらなければならないこと」「自分達が直接関わること」だからです。楽しみな反面、「大変だなあ」という気持ちも起きるかもしれません。そのことを踏まえ、今日はある会社員のお話を紹介したいと思います。

大学を卒業した後、希望していた会社に見事採用された新入社員のAさん。入社してから6ヶ月、新入社員研修も一通り終わり、いよいよ本格的に様々な仕事を任される時期になりました。

ある日上司のBさんから新規のプロジェクトメンバーになるよう指示をされ、たくさんの課題を与えられることになりました。Bさんはこう言います。

「Aくん、入社して6ヶ月だったね。これから君に大きな仕事に取り組んでもらうことにした。君にはかなり難しいと思うが、やってもらえるかね？」

Aさんは一瞬「できるかな」と不安になり、返事ができずにいました。その様子を感じたBさんが次のように言いました。

「Aくん、不安で返事ができないのかね？ では、次の3つの中から君の返事を選びなさい。」

Aさんは、ちょっとだけほっとしました。たぶん3つの中には「断る」という選択肢もあると思ったのです。ところがBさんの言葉は・・・

「君が選んでいい返事は『はい』か『Yes』か『喜んで！』のどれかだよ。さあ、どれにする？」

分かりますか？ Bさんは絶対に逃げずにやりなさいと言っているのです。

その後、Aさんは不安ながらもその仕事に一生懸命取り組み成果を上げることができました。その後もBさんはAさんに対してこの3つの答えしか望むことなく、たくさんの経験をさせていったのです。

3年後、Aさんは係のリーダーに、さらに数年後課長に、そして15年後には部長を補佐する重要なポジションを任されるようになったのです。Aさんは当時のことを振り返ってこう言います。

「できるかできないかは問題ではない。やるかやらないか、すべては自分自身が決意することが、結果を左右するのだと思います。」

与えられた課題を負担だと思ふか、自分を強く大きくするためのチャンスだと思ふか。Aさんの体験から学んでください。2学期は、本校スローガンの「やらねば何もかわらない」を心に強く思い、様々なことにチャレンジしていきましょう。



自分がされたら、どう思う？



夏休み中、ある生徒が部活動に来たところ、自分の上履きがなくなっていました。しばらく探したのですが見つかりません。仕方なく部活動に向かったのですが、その間に下駄箱に戻されていました。ただし、上履きは、水にぬれた状態だったそうです。誰かがほんの軽い気持ちで借りたのか、自分のものと間違ってしまったのか、いたずらなのか、やった本人しか分かりません。

しかし、やられた方はどうでしょう？ 相手が誰かも分からない、間違いなのかいたずらなのかも分からない、不安や悔しさが入り交じって、ものすごくいやな気分になったはず。

皆さんが同じことをされたら、どう思いますか？ 皆さんのお父さん、お母さんは「自分がされていやなことは、人にしちゃいけないよ。」と小さい頃から言っていないでしたか？

皆さんが日頃耳にする「思いやり」とか「優しさ」という言葉。これは「相手の気持ちを考えて行動すること」が基本です。そのためにも何か行動を起こすときは「自分がされたら・・・」という想像力を働かせなければなりません。やってしまった人は、勇気を出して正直に申し出なさい。そして、自分の過ちをごまかさず、相手に「ごめんなさい」と言える人間になりなさい。

今後、二度と同じようなことが起きないことを心から願っています。

〈次週の予定〉

日	曜	主 な 行 事
24	月	全校朝会
25	火	3年生実力テスト
26	水	東西しらかわ英語弁論大会 残さいを減らそう週間（～28日）
27	木	B日課 部活動休止日 眼科検診（2の4～3の5、たかね）
28	金	白衣交換



◇◇ 今週の言葉 ◇◇

「やってもやらなくても結果は同じ」
なんてことは、絶対にない！

～ 結果とは、やった分だけ出てくるもの ～

